

2-3-1 一般事項

1. 道路用碎石及びコンクリート用骨材等は、以下の規格に適合するものとする。
- JIS A 5001（道路用碎石）
- JIS A 5308（レディミクストコンクリート）附属書A（レディミクストコンクリート用骨材）
- JIS A 5005（コンクリート用碎石及び砕砂）
- JIS A 5011-1（コンクリート用スラグ骨材-第1部：高炉スラグ骨材）
- JIS A 5011-2（コンクリート用スラグ骨材-第2部：フェロニッケルスラグ骨材）
- JIS A 5011-3（コンクリート用スラグ骨材-第3部：銅スラグ骨材）
- JIS A 5011-4（コンクリート用スラグ骨材-第4部：電気炉酸化スラグ骨材）
- JIS A 5015（道路用鉄鋼スラグ）
- JIS A 5021（コンクリート用再生骨材H）
2. 受注者は、骨材を寸法別及び種類別に貯蔵しなければならない。
3. 受注者は、骨材に有害物が混入しないように貯蔵しなければならない。
4. 受注者は、粒度調整路盤材等を貯蔵する場合には、貯蔵場所を平坦にして清掃し、できるだけ骨材の分離を生じないようにし、貯蔵敷地面全面の排水を図るようにしなければならない。
5. 受注者は、水硬性粒度調整鉄鋼スラグ、細骨材、または細粒分を多く含む骨材を貯蔵する場合に、防水シートなどで覆い、雨水がかからないようにしなければならない。
6. 受注者は、石粉、石灰、セメント、回収ダスト、フライアッシュを貯蔵する場合に、防湿的な構造を有するサイロまたは倉庫等を使用しなければならない。

2-3-1 一般事項

1. 道路用碎石及びコンクリート用骨材等は、以下の規格に適合するものとする。
- JIS A 5001（道路用碎石）
- JIS A 5308（レディミクストコンクリート）附属書JA（レディミクストコンクリート用骨材）
- JIS A 5005（コンクリート用碎石及び砕砂）
- JIS A 5011-1（コンクリート用スラグ骨材-第1部：高炉スラグ骨材）
- JIS A 5011-2（コンクリート用スラグ骨材-第2部：フェロニッケルスラグ骨材）
- JIS A 5011-3（コンクリート用スラグ骨材-第3部：銅スラグ骨材）
- JIS A 5011-4（コンクリート用スラグ骨材-第4部：電気炉酸化スラグ骨材）
- JIS A 5011-5（コンクリート用スラグ骨材-第5部：石炭ガス化スラグ骨材）
- JIS A 5015（道路用鉄鋼スラグ）
- JIS A 5021（コンクリート用再生骨材H）
2. 受注者は、骨材を寸法別及び種類別に貯蔵しなければならない。
3. 受注者は、骨材に有害物が混入しないように貯蔵しなければならない。
4. 受注者は、粒度調整路盤材等を貯蔵する場合には、貯蔵場所を平坦にして清掃し、できるだけ骨材の分離を生じないようにし、貯蔵敷地面全面の排水を図るようにしなければならない。
5. 受注者は、水硬性粒度調整鉄鋼スラグ、細骨材、または細粒分を多く含む骨材を貯蔵する場合に、防水シートなどで覆い、雨水がかからないようにしなければならない。
6. 受注者は、石粉、石灰、セメント、回収ダスト、フライアッシュを貯蔵する場合に、防湿的な構造を有するサイロまたは倉庫等を使用しなければならない。

2－1 2－1 道路標識

標示板、支柱、補強材、取付金具、反射シートの品質は、以下の規格に適合するものとする。

(1) 標示板

JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)

JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)

JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)

JIS H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)

JIS K 6718-1 (プラスチック－メタクリル樹脂板－タイプ、寸法及び特性－第1部：キャスト板)

JIS K 6718-2 (プラスチック－メタクリル樹脂板－タイプ、寸法及び特性－第2部：押出板)

ガラス繊維強化プラスチック板 (F．R．P)

(2) 支柱

JIS G 3452 (配管用炭素鋼鋼管)

JIS G 3444 (一般構造用炭素鋼鋼管)

JIS G 3192 (熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量、及びその許容差)

JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)

JIS G 3106 (溶接構造用圧延鋼材)

JIS G 3136 (建築構造用圧延鋼材)

(3) 補強材及び取付金具

JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)

JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)

JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)

JIS H 4100 (アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材)

(4) 反射シート

反射シートは広角プリズム型 (フルキューブ) 反射とし、色度範囲及び反射性能は表 2－33、34 のとおりとする。

また、反射シートは、屋外にさらされても、著しい色の変化、ひびわれ、剥れが生じないものとする。

なお、交差道路標識 (1 1 8－B、C (国道番号)、1 1 8の2－B、C (都道府県番号)) の色度範囲及び反射性能は表 2－35、36 のとおりとする。

表2－33 色度範囲

色	色度座標の範囲								Y 値の限界（％）	
	1		2		3		4			
	x	y	x	y	x	y	x	y	上限	下限
白	0. 303	0. 300	0. 368	0. 366	0. 340	0. 393	0. 274	0. 329	—	38
黄	0. 498	0. 412	0. 557	0. 442	0. 479	0. 520	0. 438	0. 472	45	20
赤	0. 500	0. 353	0. 600	0. 280	0. 720	0. 280	0. 631	0. 369	15	3
青	0. 140	0. 035	0. 244	0. 210	0. 190	0. 255	0. 065	0. 216	10	1
緑	0. 026	0. 399	0. 166	0. 364	0. 286	0. 446	0. 207	0. 771	12	2

2－1 2－1 道路標識

標示板、支柱、補強材、取付金具、反射シートの品質は、以下の規格に適合するものとする。

(1) 標示板

JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)

JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)

JIS K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)

JIS H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)

JIS K 6718-1 (プラスチック－メタクリル樹脂板－タイプ、寸法及び特性－第1部：キャスト板)

JIS K 6718-2 (プラスチック－メタクリル樹脂板－タイプ、寸法及び特性－第2部：押出板)

ガラス繊維強化プラスチック板 (F．R．P)

(2) 支柱

JIS G 3452 (配管用炭素鋼鋼管)

JIS G 3444 (一般構造用炭素鋼鋼管)

JIS G 3192 (熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量、及びその許容差)

JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)

JIS G 3106 (溶接構造用圧延鋼材)

JIS G 3136 (建築構造用圧延鋼材)

(3) 補強材及び取付金具

JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材)

JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)

JIS G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)

JIS H 4100 (アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材)

(4) 反射シート

反射シートは広角プリズム型 (フルキューブ) 反射とし、色度範囲及び反射性能は表 2－33、34 のとおりとする。

また、反射シートは、屋外にさらされても、著しい色の変化、ひびわれ、剥れが生じないものとする。

なお、交差道路標識 (1 1 8－B、C (国道番号)、1 1 8の2－B、C (都道府県番号)) の色度範囲及び反射性能は表 2－33、34 のとおりとする。

表2－33 色度範囲

色	色度座標の範囲								Y 値の限界（％）	
	1		2		3		4			
	x	y	x	y	x	y	x	y	上限	下限
白	0.274	0.329	0.303	0.300	0.368	0.366	0.340	0.393	—	27
黄	0.479	0.521	0.438	0.472	0.498	0.412	0.558	0.442	—	15
赤	0.649	0.351	0.565	0.346	0.629	0.281	0.735	0.265	—	3
青	0.140	0.035	0.244	0.210	0.190	0.255	0.065	0.216	—	1
緑	0.026	0.399	0.166	0.364	0.286	0.446	0.207	0.771	—	3

旧

第 2 編 材料編

新

蛍光黄	0.521	0.424	0.557	0.442	0.479	0.520	0.454	0.491	—	40
シズオカブラウン	0.330	0.340	0.390	0.480	0.470	0.380	0.400	0.290	3	0.5

※色度座標は標準の光 D65 による。
※試験及び測定方法は JIS Z 8722 による。

蛍光黄	0.479	0.520	0.446	0.483	0.512	0.421	0.557	0.442	—	40
シズオカブラウン	0.330	0.340	0.390	0.480	0.470	0.380	0.400	0.290	3	0.5

※色度座標は標準の光 D65 による。
※試験及び測定方法は JIS Z 9117 による。

表2－34 反射性能(反射シートの再帰反射係数)

観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑	蛍光黄	シズオカ ブラウン
12′	5°	570	380	75	50	70	275	6.5
	30°	235	190	45	16	25	160	2.6
20′	5°	400	280	54	30	50	190	4.5
	30°	170	140	20	12	19	95	1.9
30′	5°	300	230	45	30	45	150	
	30°	170	140	20	12	19	100	
1°	5°	120	70	14	5	10	50	1.4
	30°	50	40	8	2.5	5	30	0.5

※単位：cd/ l x/ m²

※試験及び測定方法は JIS Z 9117 による。

表2－35 色度範囲

色		色度座標の範囲								Y 値の限界（％）	
		1		2		3		4			
		x	y	x	y	x	y	x	y	上限	下限
白		0.303	0.300	0.368	0.366	0.340	0.393	0.274	0.329	—	38
青		0.078	0.171	0.150	0.220	0.210	0.160	0.137	0.038	10	1
印刷色	淡い赤	0.585	0.290	0.560	0.370	0.380	0.360	0.350	0.320	30	5
	淡い緑	0.315	0.365	0.300	0.540	0.155	0.540	0.270	0.365	32	9
	淡い黄	0.510	0.450	0.520	0.390	0.370	0.365	0.330	0.440	45	10

※色度座標は標準の光 D65 による。

※試験及び測定方法は JIS Z 8722 による。

表2－36 反射性能(反射シートの再帰反射係数)

観測角	入射角	白	青	印刷色		
				淡い赤	淡い緑	淡い黄
12′	5°	570	14	125	110	140
	30°	235	7.7	70	50	75
20′	5°	400	10	80	75	95
	30°	170	4.9	40	35	45
1°	5°	120	2.8	25	20	25
	30°	50	1.8	11	10	15

※単位：cd/ l x/ m²

※試験及び測定方法は JIS Z 9117 による。

（表 2-37 は欠番）

表2－34 反射性能(反射シートの再帰反射係数)

観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑	蛍光黄	シズオカ ブラウン
12′	5°	570	380	75	50	70	275	6.5
	30°	235	190	45	16	25	160	2.6
20′	5°	400	280	54	30	50	190	4.5
	30°	170	140	20	12	19	95	1.9
30′	5°	300	230	45	30	45	150	
	30°	170	140	20	12	19	100	
1°	5°	120	70	14	5	10	50	1.4
	30°	50	40	8	2.5	5	30	0.5

※単位：cd/ l x/ m²

※試験及び測定方法は JIS Z 9117 による。

表2－35 色度範囲

色		色度座標の範囲								Y 値の限界（％）	
		1		2		3		4			
		x	y	x	y	x	y	x	y	上限	下限
白		0.274	0.329	0.303	0.300	0.368	0.366	0.340	0.393	—	27
青		0.078	0.171	0.150	0.220	0.210	0.160	0.137	0.038	10	1
印刷色	淡い赤	0.585	0.290	0.560	0.370	0.380	0.360	0.350	0.320	30	5
	淡い緑	0.315	0.365	0.300	0.540	0.155	0.540	0.270	0.365	32	9
	淡い黄	0.510	0.450	0.520	0.390	0.370	0.365	0.330	0.440	45	10

※色度座標は標準の光 D65 による。

※試験及び測定方法は JIS Z 9117 による。

表2－36 反射性能(反射シートの再帰反射係数)

観測角	入射角	白	青	印刷色		
				淡い赤	淡い緑	淡い黄
12′	5°	570	14	125	110	140
	30°	235	7.7	70	50	75
20′	5°	400	10	80	75	95
	30°	170	4.9	40	35	45
1°	5°	120	2.8	25	20	25
	30°	50	1.8	11	10	15

※単位：cd/ l x/ m²

※試験及び測定方法は JIS Z 9117 による。

（表 2-37 は欠番）

接着力は、800 g／25mm（7.84N）の静荷重を 5 分間かけて、貼付した試験片から 50mm 以上剥がれないものとする。

収縮性は、剥離紙を剥離後 10 分間で 0.8mm 以上、2 4 時間で 3.2mm 以上収縮しないものとする。

耐候性は、通常の使用条件にて設置後 1 2 年経過した時点においても、以下の条件を満たすものとする。なお、屋外暴露試験（JIS Z 2381 南面 4 5 暴露）により、1 2 年間を 5 年間に短縮できるものとする。

- ・ 反射性能は、規格値の 50%以上とする。
- ・ 色は、色度座標の範囲内とする。（淡い色は除く）
- ・ ふくれ、ひび割れ、端の剥がれ、腐食等がないこと。
- ・ アルミ基板から反射シートの剥がれがないこと。

接着力は、800 g／25mm（7.84N）の静荷重を 5 分間かけて、貼付した試験片から 50mm 以上剥がれないものとする。

収縮性は、剥離紙を剥離後 10 分間で 0.8mm 以上、2 4 時間で 3.2mm 以上収縮しないものとする。

耐候性は、通常の使用条件にて設置後 1 2 年経過した時点においても、以下の条件を満たすものとする。なお、屋外暴露試験（JIS Z 2381 南面 4 5 暴露）により、1 2 年間を 5 年間に短縮できるものとする。

- ・ 反射性能は、規格値の 50%以上とする。
- ・ 色は、色度座標の範囲内とする。（淡い色は除く）
- ・ ふくれ、ひび割れ、端の剥がれ、腐食等がないこと。
- ・ アルミ基板から反射シートの剥がれがないこと。